



なにごと かんたん あきら
何事も簡単に諦めずに
ちようせん つづ たいせつ
挑戦し続けることが大切です。

きし しようぎ
棋士 (将棋)
いとう たくみ
伊藤 匠 六段
ろくだん

せたがやくりつるまきしがこう つるまきがっこうしんしん しようぎ きし いとうたくみろくだん
世田谷区立弦巻小学校・弦巻中学校出身の将棋棋士の伊藤匠六段にインタビュー。伊藤さんが五段から六段に昇段された翌日の4月21日に東京・将棋会館でインタビューをさせていただきました。三軒茶屋将棋倶楽部と奨励会での経験談や、棋士としての目標を語っていただきました。

Profile

2002年10月10日生まれ。世田谷区立弦巻小学校、弦巻中学校卒業。宮田利男八段門下。2013年9月に6級で奨励会に入会。2018年4月より奨励会三段リーグ入りし、2020年10月1日に四段に昇段。プロ入りを果たす。2021年度は第49回「新人賞」、「勝率一位賞」を受賞。2023年4月20日に六段に昇段。得意戦法は相掛かり。

しようぎくらぶ しようれいかい す どりやく ひび
将棋倶楽部・奨励会で過ごした努力の日々

はじめて しようぎ ふ きおく のこ
一初めて将棋に触れたときの記憶は残って
いらっしゃいますか。

5歳のときに、父にクリスマスプレゼントで将棋盤と駒をもらって始めました。将棋を始めて3か月ぐらいで三軒茶屋の将棋倶楽部に通い始めました。そこでどんどん上達しているという感じがあって、だんだんのめり込んでいきました。

さんげんちや しようぎくらぶ みやたとしおちだん
一三軒茶屋将棋倶楽部の宮田利男八段から
教わったことで印象深いことはありますか。

師匠の宮田八段は、ふだんはよく駄じゃれとかを言って、本当に面白い先生です。師匠とは年が50歳違うので、孫のように接してもらっていましたが、奨励会に入ることをめざすような子にはちょっと接し方が違ってくるといふか、厳しく接するときもあって、私自身あまり道場へ行きたくないと思う時期もありました。でも、プロになる上でもっと厳しい時期がありますので、そういう厳しさに耐えられるように、あえて厳しく接してくれたのかなと今になって思います。

しよくがう ねんせい のとき しようれいかい に入れ
一小学校5年生のときに奨励会に入ら
れて、将棋への向き合い方など、変化した部
分はありましたか。

私は小学校2年生から5年生ぐらいまでちょっと伸び悩んでいて、奨励会試験の合格もかなりぎりぎりだったのですが、奨励会に入っているのと入っていないのでは大きく違ったのかなと思います。奨励会の厳しいレベル・環境で将棋を指すことで、より気が引き締まって、自分自身がかなり成長することができました。



しよくがう ねんせい から ねんかん す しようれいかい
一小学5年生から7年間過ごされた奨励会
にはどのような思い出がありますか。

奨励会に入るような子はみんな強いですし、あまり同じ級に長くいてはいけないう上向きを持ってやれたのがよかったと思います。また、級が上がっていくにつれて1局1局の重みが増していきました。奨励会に入った頃はそんなに緊張感もなく、負けてもそこまで落ち込んでいなかったのですが、昇段するにつれて負けたときの悔しさが強くなりました。

しよくれいかい いん とき きし たいまく きらくかり
一奨励会員のとき、棋士の対局の記録係を
務められたことで、学びにつながる側面は
ありましたか。

対局している雰囲気を感じるのは非常に貴重な経験でした。棋士がこういう雰囲気に対局しているんだなとか、早くこういうふうに分も対局したいという気持ちも強くなりましたし、記録係は結構大変なんですけれども、私は楽しんでやっていました。

おな どし ふじい そうた せなか お
同い年の藤井聡太さんの背中を追って

しよくれいかい さんだん になつてから、プロの四段
一奨励会で三段になってから、プロの四段
になるまで約3年の間、プロになれるだろ
うかといった不安はありましたか。

プロになれるかどうかを心配したことはあまりありませんでしたが、既に同い年の藤井聡太さんが棋士として活躍されていて、自分も早くプロにならないと、どんどん置いていかれてしまうという焦りの感覚は常にありました。また、この頃は三段リーグで負けたときの悔しさはどんどん大きくなっていきました。でも、藤井さんのおかげで自分もここまで上がってこれたという気持ちはありますね。こういう存在がないとなかなかモチベーションも上がっていきません。

一プロとして難しさを感じた出来事はありますか。

デビューから2連敗して、全然プロとして通用しないんじゃないかという焦りはありましたがその後、少しずつ結果が出るようになり、年度最高勝率という結果も残せました。ただ、現状ではまだまだタイトルには及ばないような気がしているので、そういう危機感みたいなものは常にあります。

いとうろくだん
一伊藤六段がプロになれたのは、どうい
つた点に要因があると思いますか。

環境に恵まれていたということが大きいです。近くに師匠の三軒茶屋将棋倶楽部があったり、家族にもいろいろな大会とかに連れていってもらうなどして、支えてもらっていました。あとは、やっぱり同い年の藤井聡太さんの存在も大きかったですね。常に藤井さんが活躍されているので、自分も頑張らしたし、上に引き上げられていったのかなと思います。

一将棋はどのようなところがおもしろい
ですか。またどうしたら伊藤六段のように強
くなれますか。

将棋は、最初から最後まで自分一人の頭で考えて指していくゲームだと思うので、勝てたときの達成感が非常に大きいと思います。同じぐらいの棋力のライバルが身近にいと、お互い切磋琢磨してどんどん強くなれる気がします。

一今後どのような棋士になりたいですか。

いずれタイトル戦に出場して、タイトルを獲得できれば一番いいですけど、今は藤井聡太さんとタイトル戦で戦うのが一番の夢ですね。

一世田谷区の子どもたちに向けてメッセージを

自分は負けず嫌いな性格で、そのおかげで棋士になることができたのかなと思います。何をやるにしても大変なことはあると思うんですけど、簡単に諦めずに1つのことに挑戦し続ける姿勢が大切だと思います。